

平瀬川・多摩川合流部整備事業に関する説明会概要

- 1 日 時 令和 6 年 10 月 8 日（火） 19:00～20:30
- 2 場 所 高津小学校特別活動室（高津区溝口 4-19-1）
- 3 出 席 者 川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課
南部都市基盤整備事務所
高津区役所道路公園センター 整備担当
国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課
神奈川県 県土整備局 河川下水道部 河港課
- 4 説明会次第 ①. 平瀬川合流部の堤防整備について
②. 質疑応答
- 5 質疑応答議事

質問者 1

世田谷の二子玉川の工事はもうほとんど完成していると思うが、川崎市はなんでそんな遅いのか。旧歯科保健センターを無償で貸す話を聞いたが、工事の置き場がなくても大丈夫ですか。家屋調査して、補償してくれると書いてあるが、うちは商売やっているから商売の方の補償もしてくれるのか。水害にあった場合その水害の補償はしてくれるのか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

工事が遅いというお話ですが、川崎市はこれまで、浸水があった以降に短期中期対策、そして長期対策という形なるべく早く出来るところから順次、色々な対策をしてきました。今まで短期中期でやってきた対策が、フラップゲートの設置や、令和元年東日本台風時の水位で浸水しないようにパラペット護岸の改修改良を令和 3 年 5 月まで進めてきたところです。これはなるべく早く、その時の水位で、水が浸みないようにするために先行してやってきたところです。今回やる工事は、現在の護岸が多摩川の堤防よりも低いため、今回の整備で多摩川の堤防と同じ高さになるところまで堤防を作って、東日本台風のように多摩川の水位が上がったとしても、皆さんの土地の方に水が流れ込まないようにするために、今回のような計画を立てて工事を進めていくというものです。

質問者 1

なぜそれを最初からやらなかったのか。世田谷区はやっているみたいだけど。5 年経っているんですよ。またこれから大きな台風来たらまた水害になるかもしれないですよ。

5年半分工事終わっていてもおかしくないですよ。前のパラペットも4億、5億の工事だったんでしょ。なんでやらなかったのか。そうすれば僕ら安全に過ごして生活も出来たし、仕事もできたんじゃないかって聞いているのですけど。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

まずはなるべく早く令和元年東日本台風の時の水位まで上がったとしても、浸水被害が起こらないような形を取るということを短期中期対策として優先して進めてきたところです。

質問者 1

去年の説明会の時にはパラペットの透明なアクリル板は、逃げるためのもので、持つとは保証できませんといった話を聞いたのですけど。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

どんな状況でも絶対に持つということはありませんが、基本的に水が上がった時にすぐに壊れてしまうようなものを整備しているわけではございませんので、基本的には持つと思っております。状況によっては壊れてしまう部分もありますし、場合によってはその隙間から水が越水するといったところも可能性としてはなくはないと思いますが、基本的には壊れて溢れ出すというようなことがないようなものを選んで工事はしています。

質問者 1

今のもので、5年前の台風は持ちますと言っているのですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

絶対壊れないということは言えませんので難しいところではありますが、パラペットの高さまでは構造上水位が上がっても、浸水しないような検討をした上で工事しています。

質問者 1

構造計算して、持つということでやったんじゃないですか。持つんですよね。5年前の台風の水ぐらいがきても大丈夫だってことなんですよ。大丈夫ですね。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

そういう対応で工事をしています。

質問者 1

わかりました、壊れたらちゃんと補償してくれるってことでいいんですよ。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

補償に関しては現地の状況等を踏まえて検討を進めていくことになると思います。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

久地歯科センターの跡地の利用としましては、下流に設置した仮設構台への搬入に伴い一部敷地を利用する必要があることから、関係部局と必要な時に必要な形で利用できるよう調整を進めてきているところです。置き場等につきましては、今作ってある仮設構台の約倍ぐらいの大きさの仮設構台を新たに作り、その中で仮置き等、資材置き場として使っていくことを考えています。

質問者 1

久地歯科センターは他に貸すんですか、無償で。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

このことにつきましては健康福祉局の方で事業を進めると伺っております。

質問者 1

町内会長と話したんですが、久地歯科センター内に会議室が2つあって、図書室もあって、何も使っていないのにすごい施設があるわけで、雨期の間だけでも皆さんが逃げられるようにできないですか。5年前に水害にあった人達はわかると思いますが、僕ら2階まで水没しているんですよ。無償で貸すなら、僕らに無償で貸して、逃げ場を作ってくれるんだったらいいんですけどどうなんですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

避難所としての運用については、関係部局にその旨の要望は伝えていきたいと思いますが、この場で答えることができません。

質問者 1

そういう発想があってもおかしくないと思うんですけど。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

ご意見を伝えていきたいと思います。

質問者 1

もう水害が起きてから5年も経っています。毎年台風来るとビクビクしているんです。わかりますか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

ご意見につきましては関係部局にお伝えさせていただきたいと思います。家屋調査につきましては、今回の工事の杭打ち工事等では、なるべく振動等がないような、圧入方式という方法を採用しております。それでも深くまで杭を打ちますので、それに伴い家屋等に損害を与えてしまう可能性があるため、従前との損傷を比べるために、事前に調査をさせていただきたいと考えております。

質問者 1

工事に対して、営業補償はしてくれるんですか。久地歯科センターの置き場が無くなったら、鋼管杭だって何本入るのか。大型は何台来るのか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

施工自体は1日1本施工できるかどうかという形になるかと思います。鋼管杭の搬入も、大型のトレーラーを多くても1日2台程度と考えています。詳細については、工事受注者が決まった後、施工計画等で細かく決めていきたいと思います。

質問者 1

工事車両はかすみ提から入ると思うんですけど、渋滞しないですか。迷惑かからないですか。どこで待機するつもりですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

今、考えていますのは多摩川河川敷等利用して、トランシーバー等を用いながら入退場の車両の間隔を調整するなど、なるべく渋滞が起きないように形で工事を進めていきたいと考えています。

質問者 1

前の工事でも結構渋滞していましたが大丈夫ですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

それを繰り返さないように調整していきます。

質問者 1

大丈夫ですね、わかりました。

質問者 2

今年台風っていうか大雨が降った時に、1 階部分が浸水してエレベーターが故障しています。吐口工の工事が後回しになると言っていましたが、早めにやってほしいです。去年、多摩沿線道路が多摩川方向に移動すると言っていたんですが、そこはどうなっているのでしょうか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

吐口工については、パラペットを撤去して、土のう等でパラペットの形を作り、特殊工法で鋼管杭を打っていく状況を見ながらその都度、吐口工を実施していきたいと考えています。どうしても工事の進捗状況に合わせてやる形になりますので、そこはご了承いただきたいと思っています。詳細につきましては、工事業者が決まってから検討しますので、改めて工事説明会でお話しさせていただきたいと考えています。

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課

前回の説明会において、多摩川の堤防整備に伴って多摩沿線道路の線形を少し動かすというお話をさせていただきました。その後、皆様から平瀬川の河川管理用道路を通って多摩川にアクセスしたいといったご要望をいただきました。多摩沿線道路の線形を変更しますと多摩川へのアクセスが困難になりますので、多摩沿線道路の線形を少し動かす案以外にも、ご要望を踏まえ多摩川へアクセスできることを含めた堤防整備の仕方についても改めて検討していきたいと考えています。検討するにあたっては川崎市とも調整しながら進めてまいります。

質問者 3

新しくできる平瀬橋ですが、位置はまだ全く決まっていないと思いますが、位置や構造が決まったら、我々利用する側の使い勝手も反映させていただきたいので細かく説明をしていただきたいと思います。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

平瀬橋や東久地橋の架け替えに関しては、色々な角度で検討を進めているところでして、平瀬橋に関しましても関係部署等々と調整をしながら、どういう形の構造のものをど

ここに設置できるのかを今検討しているところです。堤防の高さが高くなるので、その分、今までよりももっと長い階段の長さが必要になってくることから、どこの場所に設置できるかというのは、今後考えていかなければいけないと思います。それと合わせて構造についても、どういう形のものが作れるのかということも、協議をしながら今後検討していくことになるので、構造や場所などある程度決まりましたら、皆様に情報をお話できればと思っています。

質問者3

いつ着工予定で、いつ完成予定かっていうのをはっきりと回答していただきたい。アクリルの部分は、非常に華奢に見えるが、ちゃんと設計してあるとのことですが、保守もちゃんとやってもらいたい。ここ1年内で保守されたのでしょうか。今回またアクリルを設置するにあたって、そういう不安がないようにもう一度それを検討して堅牢な構造の設計変更する考えがないか。ポンプを増強して新たに作りましたが、最近、実際に使用してゲートを閉めて排水したと思います。その効果とか、実際にどういう結果であったのかを教えてください。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

工事期間は、令和7年3月に契約予定で、工期は令和14年度末までの予定です。実際の工事着手は、まず仮設構台を上流、下流に作ることを考えています。台風・梅雨がないタイミングのちょうど来年の今ぐらいの時期になってくると考えています。それまでに請負業者と施工計画を立てて、工事前に工事説明会という形で皆様に工事の進め方等を改めて説明したいと考えています。

高津区役所道路公園センター 整備担当

短期対策で設置したアクリル板の点検については、日々パトロールを道路公園センターにて実施しています。その中で、目視による点検を実施しています。

今年の1月からゲートポンプの全自動運転による供用を開始していきまして、状況については、ポンプ施設底から大体2.35メートルのところでポンプが稼働するような仕組みになっていきまして、20cm上がるともう1台のポンプが稼働するという仕組みになっています。今年の8月下旬の台風10号の時にも稼働はしています。それ以外は大雨が降った時も稼働していますので、稼働しているか、していないかの判断は青いパトライトを設置しており、回転している状況であればポンプの運転をしているという状況です。

整備効果については、あのポンプは元々内水対策で設置をしており、ポンプ設置した範囲についてはこれまでの冠水の記録がないので非常に効果があったと考えています。

現在進めています上流側ポンプの設置工事については、理化学工業と、わかたけ作業所の間の土地に改めてポンプを設置するものです。解消するエリアは、かすみ堤のクリアガーデンから旧久地歯科センターの間の道路の水を排水するものでして、工期としては今年いっぱいを予定しています。完成することによって、平瀬川の右岸側についての内水対策は、ほぼ完成するという考えです。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

アクリル板の見直しですが、余裕高については光彩・防災の観点から採光を取れるようにアクリル板を設置することとしています。アクリル板ではちょっと薄くて不安ということについては、本来の計画高水位の上ということで水が常時上がるわけではなく、水がうねってぶつかったりすることがあると思いますが、それに対しては水密性・耐久性・衝突性等を確認し、安全を確保した上で設置するので、今後、特記仕様の中で定めて工事を進めていきたいと思っています。

質問者 3

大丈夫だってことですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

はい、ご安心ください。

質問者 4

日曜日の説明会で出た質問が他にあったら、後でみんなに知らせてくれませんか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

議事録作成して、その時に出た質問に対しての私たちの見解やお答えした内容を整理した上で公表していこうと思っています。

質問者 5

40 年久地に住んでいるのですが、このような状態が起きているというのはよく理解できない。今までこういうことが起きてなかったのに、なんで今になって平瀬川の水量は今まで以上になってしまうことが理解できない。なにか問題があるんじゃないかと思います。行政の方は、治水を全般的に見てその中の平瀬川を色々検討していると思うんですが、2、3 年前に続いてまた、平瀬川に雨が集中するような状態が起きている。しかも平瀬川はついこの間、一大工事が完成したばかりで、またそういうことが起きているということはちょっと不思議なんです。平瀬川に集中する理由がなにか他にあるんじゃないか。そこに手をつけずに、平瀬川の水量を増やすことだけを考えて進めていくと、平瀬川が問題を起こしてしまう。その分もはつきりさせないと幸せに安心して住むことができなくなっていると考えている。その辺の方針なりお考えの説明も聞かせていただきたい。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

昨今よくテレビとかニュースでも出ている気候変動や温暖化など、雨の降り方がここ数年で大きく変わってきている印象はありますが、それがどれだけ影響が出ているかといったところまでは検証ができていない中で、実際のところは今まで降ったことのないような雨が降ってきているということは事実として起こっています。平瀬川は、平瀬川から多摩川に接続されて、今回工事するところは 1 番最下流部になりまして、この平瀬川に流れてくる水はかなり広範囲のところから流れてきています。平瀬川もありますし、宮前区からの平瀬川支川の水もこの平瀬川に集まってきます。もう少し上流に行くと円筒分水では多摩区から二ヶ領本川の水もこの平瀬川に流れてくる構造になっています。また、その二

ヶ領本川には五反田川といって多摩区とか麻生区から流れてくる水も流れてくる。五反田の水は二ヶ領本川に流れてきて二ヶ領本川から平瀬川に流れてそれから多摩川に流れていくということになるので、この高津区、宮前区、多摩区、麻生区この4区のエリアのかなりのエリアの水がこの平瀬川に集まって流れてきているというのが平瀬川の今現在の構造になっております。私たちは、時間雨量50ミリの対応ということで河川整備を進めてきていますが、五反田川に関しては、五反田川から直接多摩川に水を流せるような五反田川放水路という施設の整備を進めてきたところでして、この3月に五反田川放水路の運用が開始されて、五反田川の水の多くはこの二ヶ領・平瀬川に流れてこないような運用ができるようになったところです。したがって、平瀬川にかかる負荷を軽減することはできているのではないかと考えています。

質問者5

平瀬川から始まって二ヶ領用水とか、とにかく平瀬川に繋がっているところの水の流れを毎日歩いて目にしている。例えば雨も降らないのに水量が増えたり減ったり変動していると、そういう不安要素がほとんど見当たらない状態でも、平瀬川を気にしないといけない状態が発生している。だから、いろいろな開発などが行われて、どこかで水量が増えて、その水が平瀬川に入ってきているとか、そこが問題だっていうことがわかればいいんですが、その辺は行政から見てなにか原因があるのでしょうか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

開発などによって流れてきている水の量が増えているというお話かと思いますが、ある程度規模が大きい開発を行う時には、今までは山で水が染み込んで、ある程度時間をかけないと川に水が出てこない状況だと思いますが、例えばコンクリートなどになると、その水が一気に川に流れ込んできてしまうということがあると思います。そういったことによって急激に川の水位が上がることを避けるため、開発する業者さんに一時的にその敷地の中で水を貯めてもらい、少しずつ水を出して一気に川に水が流れ込まないような施設を作ってもらって指導はしているところです。

質問者5

平瀬川の増水に繋がっていることが何かわかっているように聞こえたものですから質問しました。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

平瀬川が今まで以上にすごく水が集まってきていると思っているわけではございません。ただ、ゲリラ豪雨と言われるような雨の降り方は、急激に短い時間で雨が降り川に流れ込んでくるので、一気に水位が上がりやすい状況になるというのが、今感じられているところです。

質問者6

平瀬川の計画高水位を超えたと書いてあるんですが、そもそも、平瀬川の計画高水位ってどのように決めたのでしょうか。今回多摩川の計画高水位に合わせた堤防の工事という

ことですが、元々その高さに計画されてなかったということだと思いますが、この計画高水位というのはどのように決めたのでしょうか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

平瀬川の河川の断面を決める上での高さは、平瀬川だけではなく平瀬川支川、二ヶ領本川、五反田川の水が全部流れてきた時にどれぐらいの水位になるのか、それが1時間に50ミリの雨が降った場合、流れてくる水がどれぐらいの高さになるのかということを計算して、川の幅や水位の高さを決めています。平瀬川に流れてくる水に比べて多摩川に流れてくる水は、奥多摩などから流れてくるので、多摩川と平瀬川に流れてくる水位に差異がありまして、平瀬川に流れてくる水の高さの方が多摩川の高さよりも低かったところです。多摩川は多摩川の高さに合わせて堤防が作られているのですが、平瀬川に関しては多摩川の堤防の高さまで堤防がなかったので、その部分から水が越水してしまったというのが令和元年東日本台風の時の状況でございました。

質問者6

最初から多摩川は考慮してなかったってことですね。多摩川の水位っていうのは平瀬川が全く考慮しない計画だったってことですね。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

多摩川の計画の高さまでは堤防ができていなかったといったところでもございまして、合流部対策についても、しっかりと多摩川水系平瀬川ブロック河川整備計画の中に多摩川の堤防の高さまで平瀬川の堤防の高さを確保していくことを位置付けて今回工事を進めていくところでございます。

質問者6

最初から川崎市は、平瀬川は多摩川の水位を全く考慮してなかったって話ですね。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

平瀬川に関しましては川崎市で整備とか維持管理などを行っておりますが、この平瀬川自体は神奈川県が管理する河川で、令和4年の2月に神奈川県が計画を策定しているところでございます。

質問者6

なぜ、そしたらなぜ当初から多摩川の高さに合わせなかったのでしょうか

神奈川県 県土整備局 河川下水道部 河港課

平瀬川の整備としては、水位や流量を決めるにあたっては、多摩川の1番高い水位を基に、そこから水位を計算していくという考えではないので、多摩川と平瀬川の最高水位にずれができてきます。河川整備の計画の考え方としては川ごとに切り分け、平瀬川は平瀬川として、多摩川は多摩川としてどれだけの水が流れてくるから水位がどこまで来るかということで計算しております。ご質問の内容としては本来切り分けずに1番高いところに合わせてやればいいというご意見かと思いますが、河川整備においてはそういった考えではないことから最高水位にずれが出ております。答えとしては計画をどう立てていくかと

いうところの考え方の話となっております。繰り返しになりますがその計画でどういった川の断面を作るのか、どういった整備をしようかというところの考え方が、平瀬川で言えば流末は多摩川になってくるのですが、多摩川の1番高い水位をスタート地点としないところではずれが生じる。このような考えを基に整理しているとご理解いただければと思います。

質問者6

堤防の脇の道路は保守点検のための道路ですよね。要望ですけども、雨が降ると非常に排水が悪くて水が溜まるので、今回整備するにあたって排水を考えた道路にしたいだけと、生活道路として使っているのを助かります。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

施工計画の流れの中でお話しさせていただきましたけれども、最終的には管理用通路を少し広げて整備していきます。この中で新たに造る擁壁の横にU字溝を設置して、排水を確保していきたいと思っています。

質問者6

それでは今より排水は良くなるのか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

排水に関しては良くなると考えています。

質問者1

いつになったら僕は安心して過ごせるんですか。それが知りたいのに、説明会を何回もやっても全然意味がない。これから入札やっていきます。そうじゃないよ。どうやったら、安心して台風来ようが何しようがゆっくり寝られるんですか。それを知りたいですよ。10年計画でも何年かかっているのか。皆さんは代替わりしていなくなってしまう。あなたは紙の上でしか考えていないけど、置き場もない、何もないでどうやって工事を進めるのか。大型車両トレーラーがいっぱい来ると言っているのに簡単に考えすぎですよ。補償してくれるなら、いつでもいいですよ。ちゃんと答える人いないんですか。もう世田谷区は終わっちゃってるよ。そう思いませんか皆さん。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

令和元年東日本台風と同程度の水位になった時にも越水しないようにする対策、浸水被害を軽減するための対策というのを、まず短期対策中期対策という形で進めてきたところでございまして、今回お話しさせていただいた今回の護岸工事に関しましては、9年間という長期にわたる工事になるため、少しでも早く、令和元年東日本台風程度の水位になった時にも、越水しない対策というのをまず優先してやってきたといったところです。今ある護岸とアクリル板の高さは、多摩川の計画高水位の高さまで足りていませんので、そこは多摩川の堤防の高さと同じ高さになるような工事をする事としてしています。ご理解いただきたいと言ったところで、なかなか難しいというのは重々承知しておりますが、そういった方針でできるだけ早く、少しでも良い状況になるように段階を追って進めてきたとこ

ろでございます。

質問者 7

国土交通省の方が来ているので国土交通省の方に要望したいと思います。昔は多摩川の右岸の方に平瀬川から放流した部分から右岸に沿って多摩川の分流がありましたが、その分流が今なくなってしまって、1番極端なのは二子の排水樋管のところなんかはもう中州がなくなって、もう右岸のところからずっと、砂利が堆積している状況です。令和元年東日本台風のあと、浚渫をお願いして、なんとか流れができた時もあったんですけど、やっぱり石が溜まって、それもなくなってしまうというような状況があります。国土交通省にはこの流れが変わった原因について調べていただきたいというのが1点です。それから、今は台風の季節とか、梅雨の季節とか関係なくて年間を通して集中豪雨とかが起きていることから、浚渫を頻繁にやって頂きたいと思います。やっぱり多摩川に流れる許容範囲が増えれば、平瀬川に対する負荷も小さくなると思います。そういった点でぜひ多摩の浚渫をこう頻繁にやっていただきたい。今年度についてはこの平瀬川近辺のところは予算が無かったということで、やっていただけなかったんですけど、ぜひ浚渫をきちんとやって頂きたいと要望します。

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課

京浜河川事務所では、令和2年度より多摩川緊急治水対策プロジェクトにおいて河道掘削を実施しています。多摩川緊急治水対策プロジェクトにおける河道掘削により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して水位を低下させる効果があると見込んでいます。多摩川緊急治水対策プロジェクトで実施する河道掘削以外の箇所については、測量やモニタリングを通じた現地等確認の結果、河川管理上必要な場合には、河道掘削を行っていきます。

質問者 7

ぜひ調査していただきたい。